

第 267 回月例情報市場

2026. 4. 15 ふれあい福祉センター4 階会議室

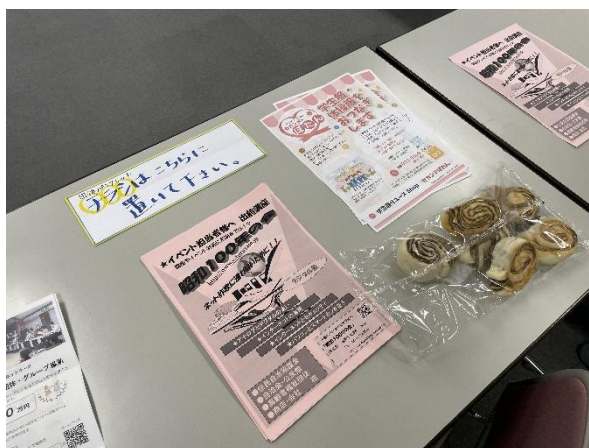
活動紹介

・若槻さんは 40 代から緩和ケア病棟でのボランティア活動を 30 年間継続し、自身の心の在り方と生き方について具体的な取り組みを進めている

・本田さんは緩和ケア病棟での長年のボランティア経験を通じて、医療的な学習は充実していたが心のケア部分の学習不足を感じ、精神保健ボランティア活動に参加するようになった経緯を説明した

・吉田さんからセカンドボタンの学生服リユース事業について簡潔な活動報告があり、地域の学校指定用品の変化についても言及された

・西澤氏は信州こどもカフェ長野地域プラットフォームの理事として、コープ長野からの食品ロス削減とフードバンク事業の連携を推進している



ささえあい応援金助成団体による事業報告

岸田さんの活動「昭和 100 年の会」は 12 年目を迎え、ボランティアセンターからの協力を得ながら活動を継続している。

ささえあい応援金 8 万円を活用してプロジェクターを購入した。

デジタル塾で詐欺防止を目的とした教育を 3 年前から開始し、子供から高齢者まで幅広い層にアナログとデジタルの違いについて啓発活動を行っており、プロジェクターを活用している。

レコード塾では蓄音機を使用した音楽活動を継続し、高齢者施設での演奏活動や善光寺参りの歌を歌ったりしている

農業塾では子供食堂へのリンゴ寄付や収穫体験の提供を行っているが、活動中の事故やけがなど責任の所在やリスク管理について課題を抱えている



活動の課題

課題：プロジェクター購入時の価格変動により予算超過してしまった

解決策：活動による謝礼金で補填

課題：印刷コストの高騰、特にプリンターインク代の負担増加 している

解決策：白黒印刷の活用、外部印刷業者の利用、ネットプリントサービスの検討がすすめられた

課題：高校入学手続きのデジタル化により保護者が対応に苦慮している

解決策：18歳成人制度により本人が手続きを行う必要があるが、サポート体制の整備が必要 ではないか

課題：デジタル化の進展により緊急連絡が届かない事例の発生

解決策：紙ベースとデジタルの併用による情報伝達の確実性向上



課題：りんごなど子ども食堂への寄付はどこを通せば安心か

解決策：地域振興局の県民文化部を通じた公的なコーディネート体制の活用が
すすめられた

次回の情報市場は、

5月20日（水）19時～20時 ふれあい福祉センター4階会議室

※18～19時理事会のため、終了までロビーでお待ちください。